



測量CADシステム [マーキュリーワン Ver.3]

セットアップガイド

新規導入編

Mercury-ONE を新規にセットアップする手順を解説します。

はじめての簡単セットアップ	2
ネット認証(占有) + スタンドアロン	3
セットアップガイド	
(「はじめての簡単セットアップ」以外の方法)	9
1. プロテクトを確認します	10
2. インストール方法を決めます	11
3. 「スタンドアロン」の 新規インストール手順	12
4. 「サーバークライアント (共同編集あり)」の 新規インストール手順	20
5. 「サーバークライアント (共同編集なし)」の 新規インストール手順	32
[補足1] ネット認証(LAN) のセットアップ手順	42
[補足2] SNS-LAN-X のセットアップ手順	44
セットアップ Q&A	47



Check

セットアップの前に確認してください

- セットアップするには、「コンピューターの管理者 (Administrators)」のアカウントでサインイン (ログオン) している必要があります。
- お使いのウイルス対策アプリによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。このような場合には、ウイルス対策アプリなどの常駐プログラムを一時的に終了してから、セットアップをおこないます。
- セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。
お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存してください。
また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

はじめての簡単セットアップ

はじめての簡単セットアップでは、Mercury-ONE を

プロテクトタイプ： ネット認証ライセンス(占有)

+

インストール方法： スタンドアロン

でセットアップする手順を解説します。

次ページへ

その他のプロテクトタイプ または その他のインストール方法 でセットアップする場合は、下記内容をご確認の上、P.9 からの「セットアップガイド」を参照してセットアップをおこなってください。

プロテクトタイプの確認方法

プロテクトタイプは、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

プロテクトタイプには、

ネット認証(占有) ネット認証(共有) ネット認証(LAN)

USB プロテクト【SNS-W】【SNS-LAN-X】

があります。

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○○

インストール方法:スタンドアロンとは

インストール方法の「スタンドアロン」とは、

- すべてのファイルを1台のコンピューターにインストールする
- 1台のコンピューターで現場データを編集する

という場合のインストール方法です。

その他のインストール方法として、現場データや設定ファイルをサーバーで管理する

サーバークライアント(共同編集あり) サーバークライアント(共同編集なし)

があります。

すべての作業を1台のコンピューターで。



その他のプロテクトタイプ、その他のインストール方法 のセットアップ手順は

その他のプロテクトタイプの場合

ネット認証(LAN) ネット認証(共有) USB プロテクト【SNS-W】【SNS-LAN-X】

または、その他のインストール方法の場合

サーバークライアント(共同編集あり) サーバークライアント(共同編集なし)

のセットアップ手順については、P.9 からの「セットアップガイド」を参照してください。

P.9へ

ネット認証(占有) + スタンドアロン

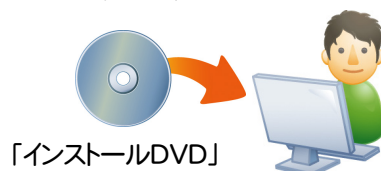
「Step1 | Mercury-ONE のインストール」

「Step2 | BEST FAQ のインストール」

「Step3 | プロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録」の順でセットアップをおこないます。

Step1 | Mercury-ONE のインストール

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[スタンドアロン] タブを選択します。



- ① [Mercury-ONE] ボタンを押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

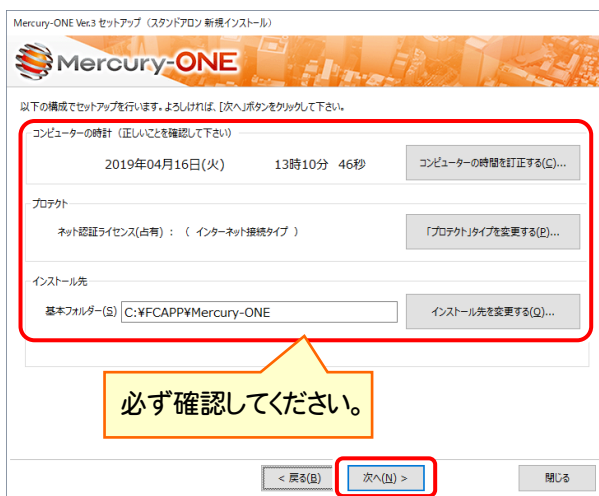


(次ページへ続きます)

[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。
設定を終えたら、[次へ]を押します。



時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

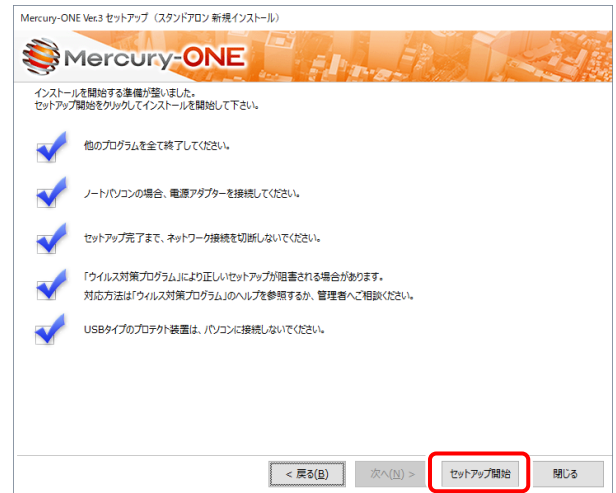
プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にご覧ください。

(次ページへ続きます)

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動してください。



(「Step2」へ進みます)

Step2 | BEST FAQ のインストール

※ 次の手順は、保守サポートサービス「FCM-MUGQ」をご契約のお客様のみ、おこなってください。

「BEST FAQ」のインストールDVDは、「FCM-MUGQ」をご契約のお客様にお送りしています。

1. コンピューターに、「BEST FAQ」のインストールDVDをセットします。



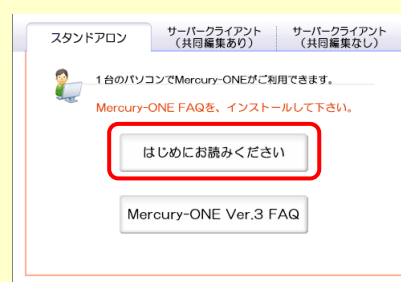
2. セットアップ画面の[スタンドアロン]を選択します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

「はじめにお読みください」を確認して下さい

「はじめにお読みください」では、BEST FAQのインストール手順などを確認することができます。



(次ページへ続きます)

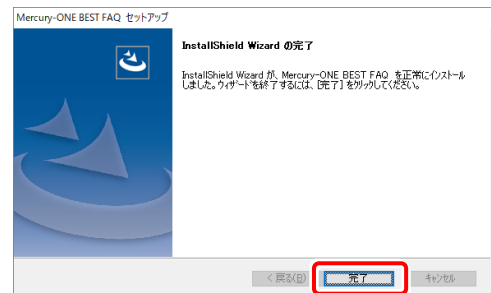
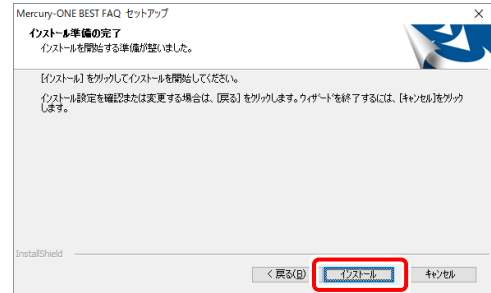
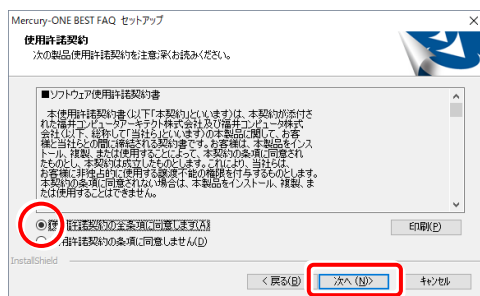
3. [Mercury-ONE FAQ]ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページ「Step3」へ進みます)

Step3 | プロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録

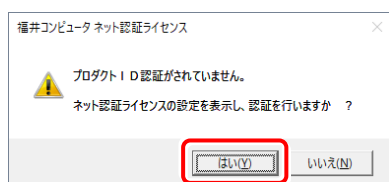
プログラムを起動して、ネット認証ライセンスの「プロダクトIDの認証」と、「FCコンシェルジュのユーザー登録」をおこないます。

※ インターネットに接続されている必要があります。

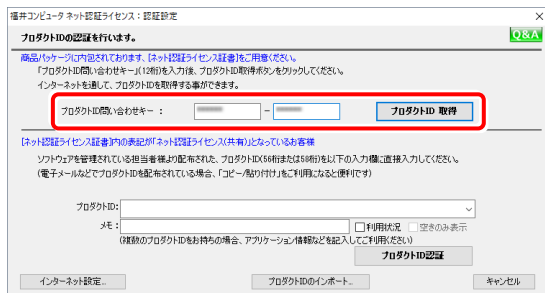
1. デスクトップの[Mercury-ONE]のアイコンをダブルクリックして起動します。



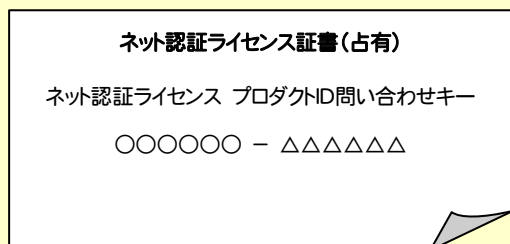
2. [はい]を押します。



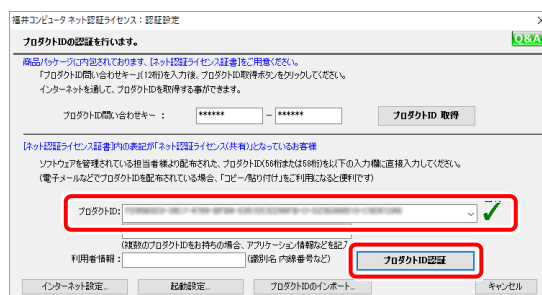
3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。



「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



4. [プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



5. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。



自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・ 複数人でライセンスを使用する場合。
- ・ 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・ 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

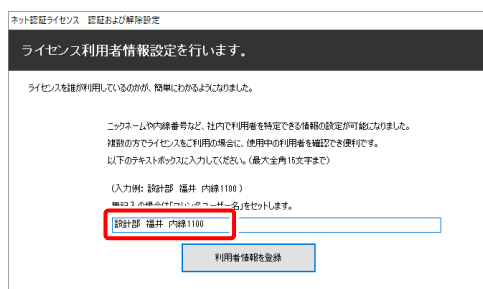
※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

(次ページへ続きます)

6. 選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。

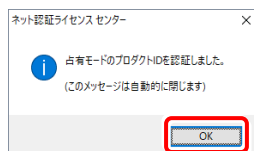


7. 利用者情報を入力して登録してください。



【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。
内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

8. ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

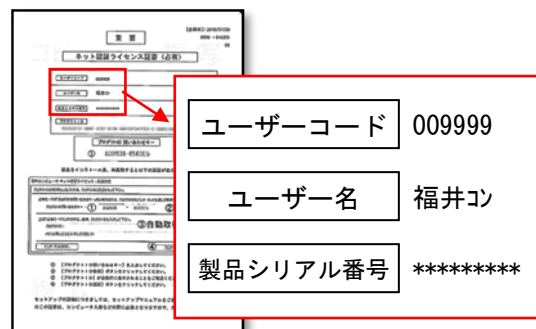


続けて FC コンシェルジュ のユーザー登録画面が表示された場合は、必要事項を記入してユーザー登録をおこなってください。

FC コンシェルジュ では、インターネットを利用した各種サービスが提供されます。例えば製品情報や各地のイベント・セミナー情報、操作サポート情報がご覧になります。またインストールされているプログラムのアップデートをおこなう事もできます。

FCコンシェルジュの登録に必要な「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。

● 製品に同梱されているネット認証ライセンス証書



以上で Mercury-ONE の簡単セットアップは **完了** です。

セットアップガイド

(「はじめての簡単セットアップ」以外の方法)

まず「プロテクトタイプ」

- ・ ネット認証ライセンス(占有)
- ・ ネット認証ライセンス(共有)
- ・ ネット認証ライセンス(LAN)
- ・ USBプロテクト【SNS-W】
- ・ USBプロテクト【SNS-LAN-X】

を確認します。次に「インストール方法」

- ・ スタンドアロン
- ・ サーバークライアント (共同編集あり)
- ・ サーバークライアント (共同編集なし)

を選択して、Mercury-ONE をセットアップします。

※ ネット認証ライセンス(占有) + スタンドアロン
 で使用する場合は、
 P.2 「はじめての簡単セットアップ」
 の手順でセットアップしてください。

1. プロテクトタイプを確認します

Mercury-ONE のプロテクトタイプには、

- ネット認証ライセンス(占有)
- ネット認証ライセンス(共有)
- ネット認証ライセンス(LAN)
- USBプロテクト【SNS-W】
- USBプロテクト【SNS-LAN-X】

があります。

ご購入されたプロテクトタイプを確認してください。

※ プロテクトタイプは、「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」にも記載されていますので、ご確認ください

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○

プロテクトタイプ

ネット認証ライセンス(占有)

ネット認証ライセンス(共有)

USBプロテクト【SNS-W】

次ページ「2. インストール方法を決めます」に進み、プログラムをインストールします。

次ページへ

※ USBプロテクトは、まだコンピューターに装着しないでください。

ネット認証ライセンス(LAN)

まず、

P.42 [補足1] ネット認証ライセンス(LAN)のセットアップ手順を参照して、ネット認証ライセンス(LAN)をセットアップします。

その後に、次ページ「2. インストール方法を決めます」に進み、プログラムをインストールします。

P.42へ

USBプロテクト【SNS-LAN-X】

まず、

P.44 [補足2] SNS-LAN-Xのセットアップ手順を参照して、SNS-LAN-X をセットアップします。

その後に、次ページ「2. インストール方法を決めます」に進み、プログラムをインストールします。

P.44へ

※ USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。

2. インストール方法を決めます

Mercury-ONE のインストール方法には、以下の3種類があります。
ご使用になる環境に合ったインストール方法を選択してください。

スタンドアロン

すべてのファイルを、
1台のコンピューター
にインストールします。

1台のコンピューターで、
現場データを編集します。

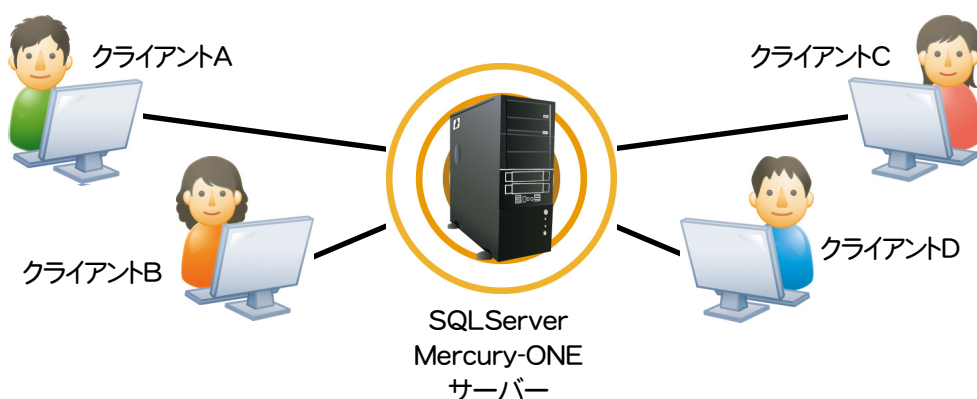


次ページへ

サーバークライアント（共同編集あり）

現場データや設定ファイル
をサーバーで管理します。

現場データを、複数のユーザーで
同時に共同編集できます。

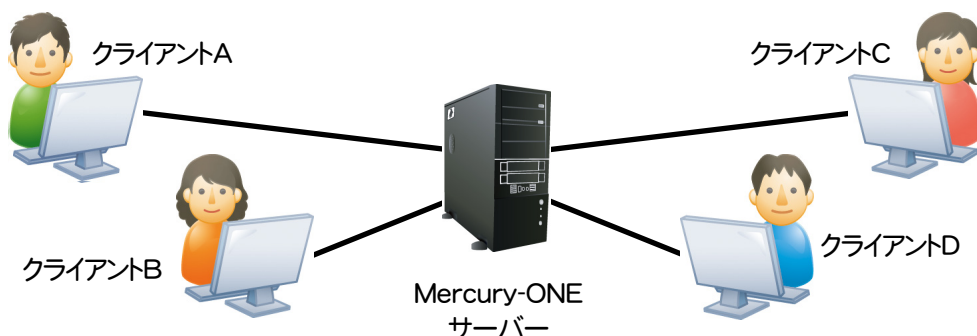


P.20へ

サーバークライアント（共同編集なし）

現場データや設定ファイル
をサーバーで管理します。

現場データの共同編集はできません。



P.32へ

3.「スタンドアロン」の新規インストール手順

お使いのコンピュータに、「スタンドアロン」で Mercury-ONE を新規インストールします。

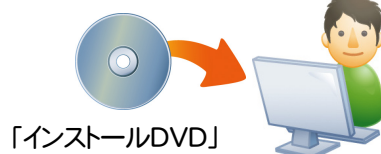
「Step1 | Mercury-ONE のインストール」

「Step2 | BEST FAQ のインストール」

「Step3 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録」の順でインストールします。

Step1 | Mercury-ONE のインストール

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-ONE]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[スタンドアロン]タブを選択します。



- [① Mercury-ONE]ボタンを押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



コンピュータの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



必ず確認してください。

時計を確認してください

コンピュータの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

プロテクトタイプを確認してください

「プロテクト」タイプは、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○○

「プロテクト」タイプの初期値は、「ネット認証ライセンス(占有)」です。

他のプロテクト(ネット認証ライセンス(LAN)、USBプロテクト【SNS-W】、【SNS-LAN-X】など)を使用される場合は、「[プロテクト]タイプを変更する」ボタンを押して、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

- ・【占有】： ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
 - ・【LAN】(※1)： ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
 - ・【占有 + LAN】(※1)： ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
 - ・【共有】： ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたサーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- ・【USBローカル】： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
 - ・【LAN】(※2)： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
 - ・【USBローカル + LAN】(※2)： USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着しているサーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動してください。

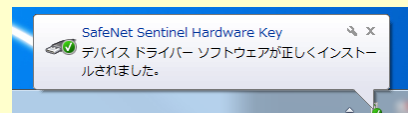


USBプロテクト【SNS-W】を使用するお客様は

ここでコンピューターにプロテクトを装着してください。
自動的にプロテクトドライバがインストールされ、USB
プロテクトが認識されます。



Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | BEST FAQ のインストール

※ 次の手順は、保守サポートサービス「FCM-MUGQ」をご契約のお客様のみ、おこなってください。

「BEST FAQ」のインストールDVDは、「FCM-MUGQ」をご契約のお客様にお送りしています。

1. コンピューターに、「BEST FAQ」のインストールDVDをセットします。



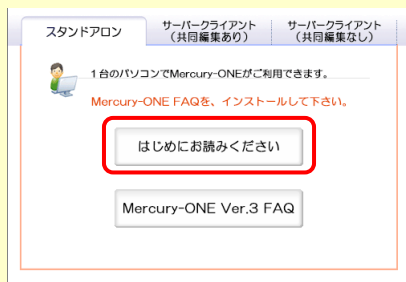
2. セットアップ画面の[スタンドアロン]タブをクリックします。



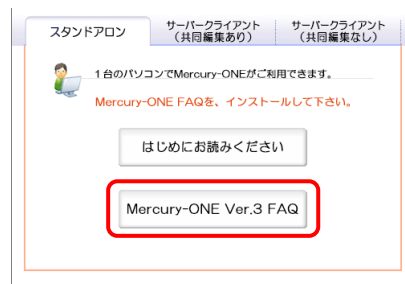
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の「Install.exe」を実行してください。

「はじめにお読みください」を確認して下さい

「はじめにお読みください」では、BEST FAQのインストール手順などを確認することができます。



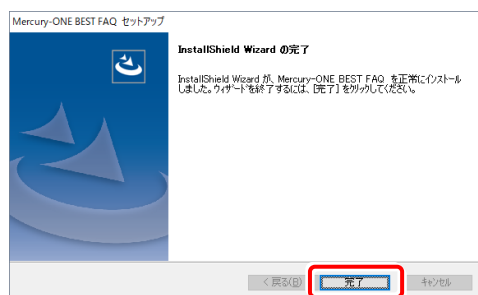
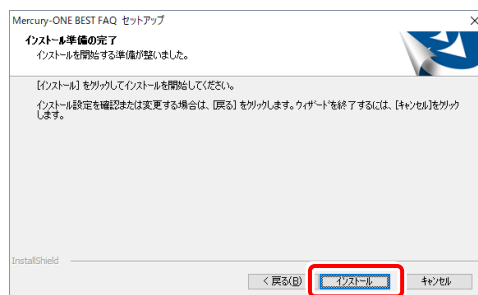
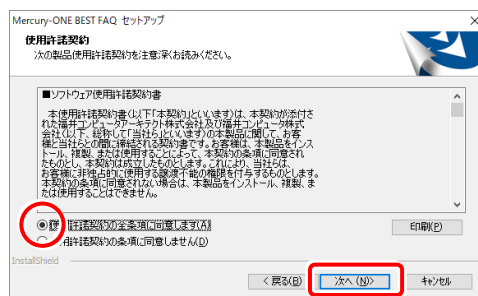
3. [Mercury-ONE FAQ]ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページ「Step3」へ進みます)

Step3 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録

プログラムを起動して、使用するプロテクトを選択します。ネット認証ライセンス(占有または共有)の場合は、「プロダクトIDの認証」もおこないます。

また「FCコンシェルジュのユーザー登録画面」が表示された場合は、ユーザー登録もおこなってください。

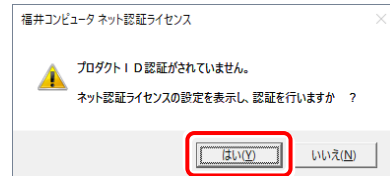
※ プロダクトIDの認証およびFCコンシェルジュのユーザー登録は、インターネットに接続された環境が必要です。

1. デスクトップの[Mercury-ONE]のアイコンをダブルクリックして起動します。



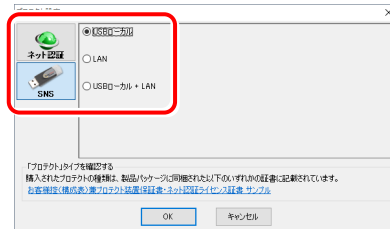
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプロダクトIDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)または(共有)を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.49 を参照してください。



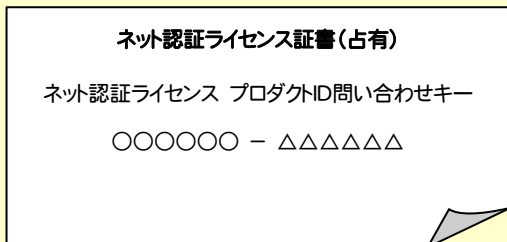
ネット認証ライセンス(占有)の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(占有)のお客様のみ、おこなってください。

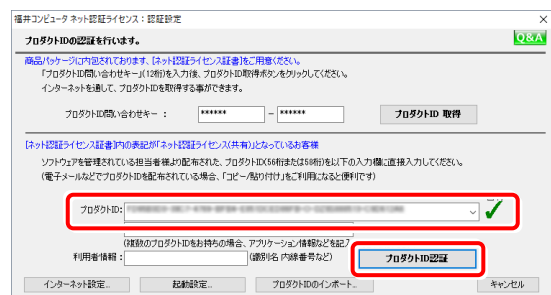
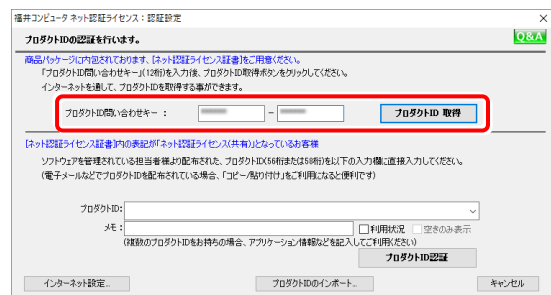
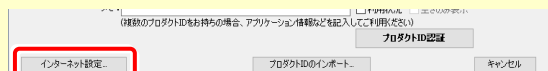
[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続きます)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・ 複数人でライセンスを使用する場合。
- ・ 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・ 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。

利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.**に進みます。

ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(共有)のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID]にソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

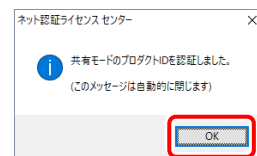
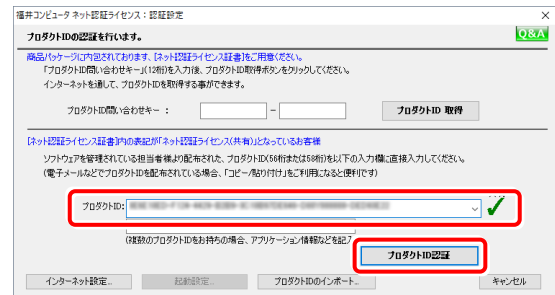
ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。

ネット認証ライセンス証書(共有)

プロダクトID

○○○○○○○○○-△△△△.....

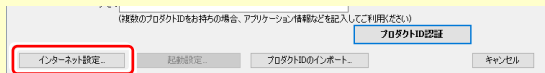
□□□□□□□-xxxxx.....



ネット認証ライセンス(共有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて **3.** に進みます。

※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. プログラムが起動されます。

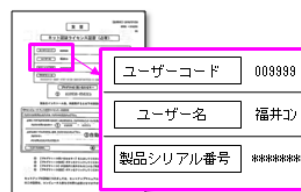
続けて **FCコンシェルジュのユーザー登録画面** が表示された場合は、必要事項を記入して **ユーザー登録をおこなってください**。登録が完了すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

既にFCコンシェルジュでユーザー登録されている場合は、登録ユーザーの一覧が表示されます。使用するユーザーを選択すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

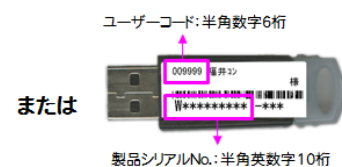
FCコンシェルジュ では、インターネットを利用した各種サービスが提供されます。例えば製品情報や各地のイベント・セミナー情報、操作サポート情報がご覧になれます。またインストールされているプログラムのアップデートをおこなう事もできます。

※FCコンシェルジュの登録に必要な「ユーザーコード」と「製品シリアル」については、右図を参照してください。

●製品に同梱されているネット認証ライセンス証書



●USBプロテクト裏面のシール



以上で Mercury-ONE の新規導入は **完了** です。

－ メモ －

4.「サーバークライアント（共同編集あり）」の新規インストール手順

Mercury-ONE を「サーバークライアント（共同編集あり）」で新規インストールします。

まずサーバーで

- 「Step1 | SQLServer インストール」
- 「Step2 | Mercury-ONE サーバーインストール」
- 「Step3 | BEST FAQ サーバーインストール」をおこないます。

次にクライアントで

- 「Step4 | Mercury-ONE クライアントインストール」
- 「Step5 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録」をおこないます。

まず、サーバーにプログラムをインストールします

Step1 | SQLServer インストール

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-ONE]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

「サーバークライアント（共同編集あり）」タブを選択します。



「① SQLServer インストールアシスト」ボタンを押します。



（次ページへ続きます）

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

インストールアシストが不要場合があります

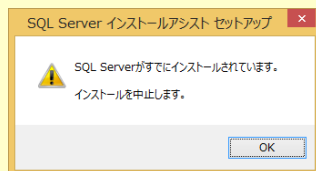
※ サーバーに、製品版の「SQL Server」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」で SQL Server をインストールする必要はありません。

次ページ「Step2」へ進んでください。

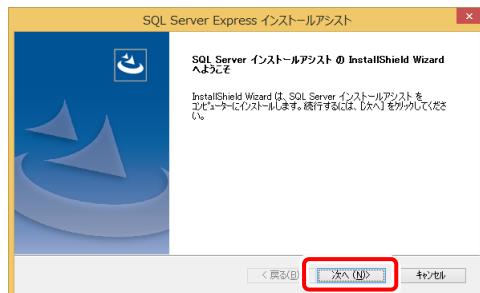
※ 「インストールアシスト」で SQL Server をインストールする必要がない場合は、「セットアップ（インストール）」を中止します。」とメッセージが表示されます。

次ページ「Step2」へ進んでください。

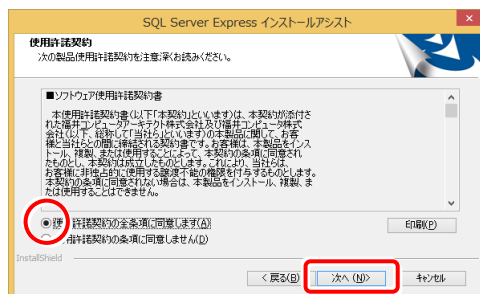
メッセージ例



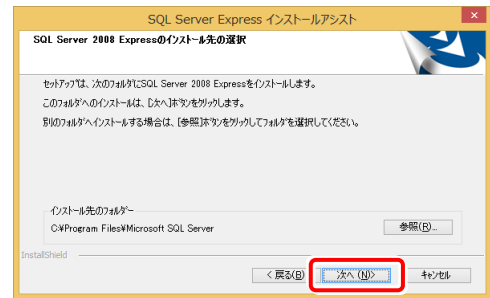
※ 画面は、環境によって異なる場合があります。



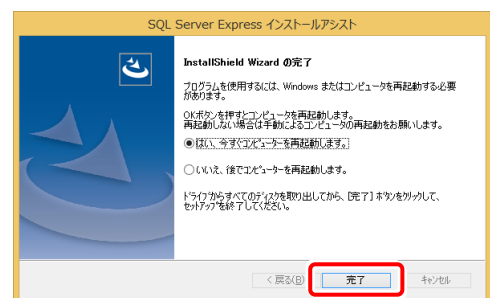
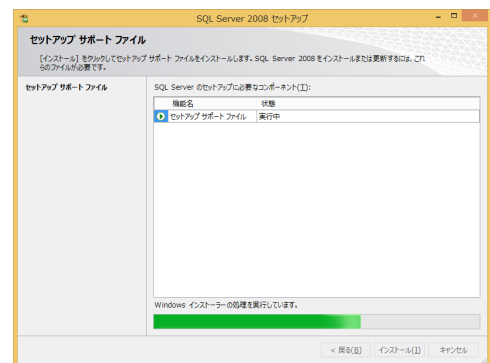
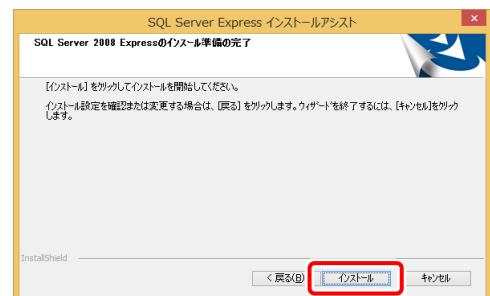
「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



インストールには時間がかかる場合があります。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

（次ページ「Step2」へ進みます）

Step2 | Mercury-ONE

サーバーインストール

1. サーバーで、セットアップ画面の[② Mercury-ONE サーバーインストール]ボタンを押します。



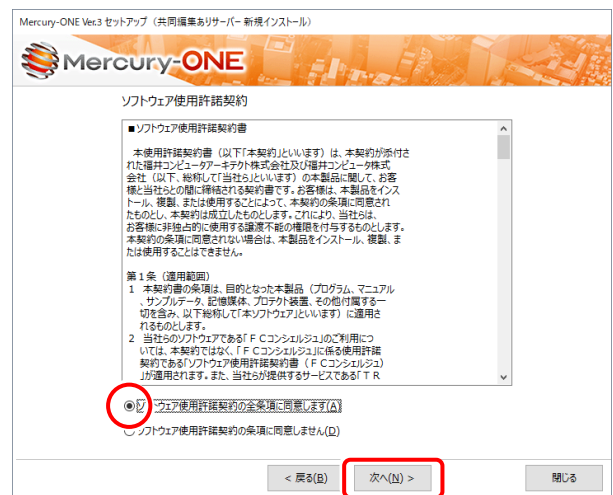
2. インストール環境の確認画面が表示されます。
すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



(次ページへ続きます)

サーバー現場データの保存先を確認して、[次へ]を押します。

サーバーツールのインストール先を確認して、[次へ]を押します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

(次ページへ続きます)

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



(次ページ「Step3」へ進みます)

Step3 | BEST FAQ サーバーインストール

※ 次の手順は、保守サポートサービス「FCM-MUGQ」をご契約のお客様のみ、おこなってください。

「BEST FAQ」のインストールDVDは、「FCM-MUGQ」をご契約のお客様にお送りしています。

1. サーバーに、「BEST FAQ」のインストールDVDをセットします。



2. セットアップ画面の[サーバークライアント(共同編集あり)]タブをクリックします。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の「Install.exe」を実行してください。

「はじめにお読みください」を確認して下さい

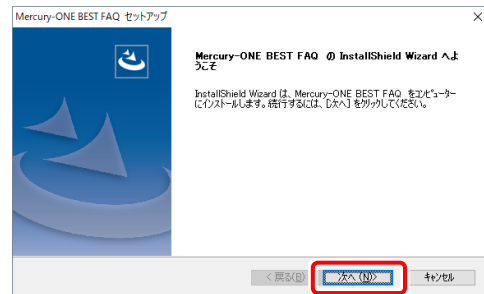
「はじめにお読みください」では、BEST FAQのインストール手順などを確認することができます。



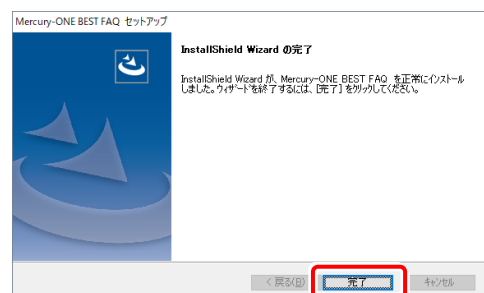
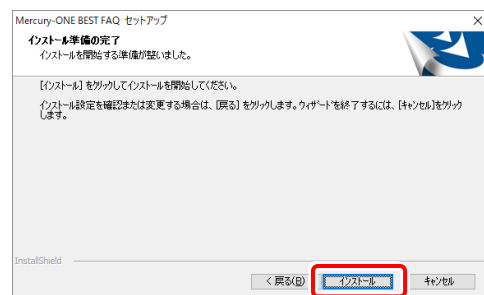
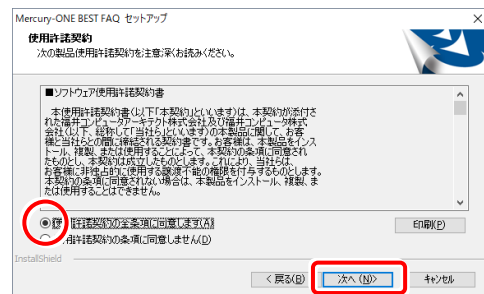
3. [Mercury-ONE FAQ] ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



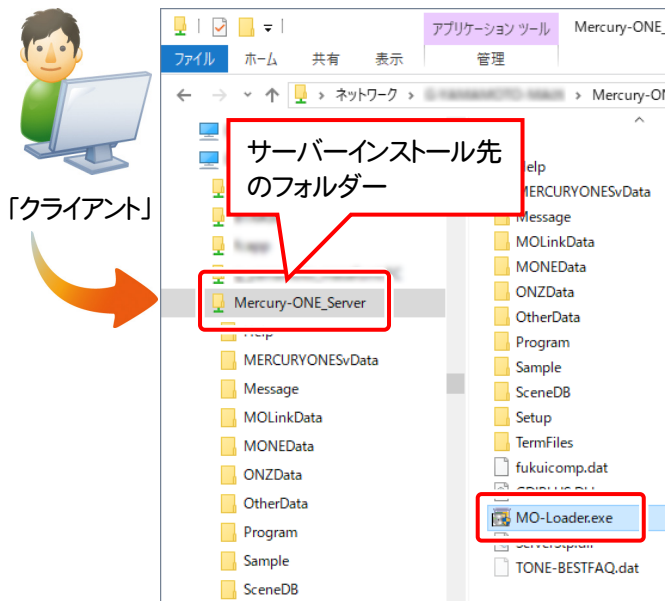
(次ページ「Step4」へ進みます)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

Step4 | Mercury-ONE

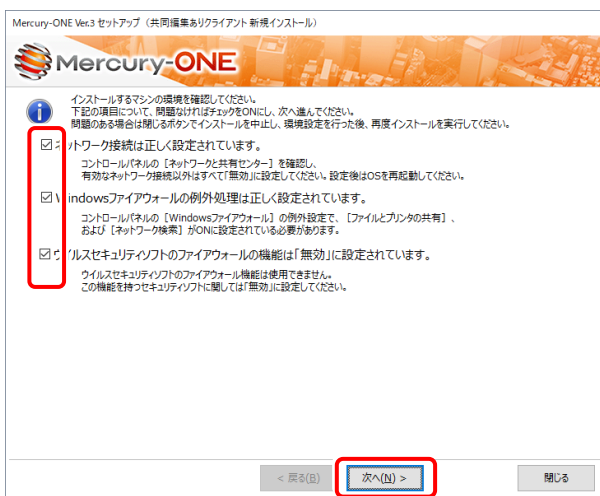
クライアントインストール

1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、「MO-Loader.exe」を実行します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。

Mercury-ONE Vex3 セットアップ（共同編集ありクライアント 新規インストール）

以下の構成でセットアップを行います。よろしければ、[次へ]ボタンをクリックして下さい。

コンピューターの時計（正しいことを確認して下さい）
2019年04月16日（火） 13時58分 29秒 [コンピューターの時間を訂正する\(C\)...](#)

プロテクト
ネット認証ライセンス(占有) : (インターネット接続タイプ) [「プロテクト」タイプを変更する\(P\)...](#)

インストール先
基本フォルダー(S) C:\FCAPP\Mercury-ONE [インストール先を変更する\(Q\)...](#)
[各フォルダーを個別に設定する\(D\)...](#)

必ず確認してください。

< 戻る(B) **次へ(N) >** 閉じる

時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する] ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

[各フォルダーを個別に設定する]とは

[インストール先]の[基本フォルダー]で指定したフォルダーには、プログラムやヘルプファイルなどがインストールされます。設定ファイルは共有のため、サーバーにインストールされます。

プログラムや各設定ファイルのインストール先を個別に指定したい場合は、[各フォルダーを個別に設定する] ボタン から表示されるダイアログで指定します。

インストール先の選択

コンポーネント	フォルダー
プログラム	C:\FCAPP\Mercury-ONE\Program
ヘルプ	C:\FCAPP\Mercury-ONE\Help
クライアントソフト	サーバー
クライアントライク	サーバー
プロットマーク	サーバー
環境管理	C:\FCAPP\Mercury-ONE\SceneDB
測距士名・申請書	サーバー
場所検索画面	サーバー
方向・コントロール	サーバー
5mの精度セレクト	サーバー
条件	サーバー
プロット条件	サーバー
座標・地盤	サーバー
CAD図面	サーバー
図解・図解所	サーバー
金庫平面図	サーバー
DMZマーカー	サーバー
DNA図面	サーバー
構造図面計算	サーバー

プログラム C:\FCAPP\Mercury-ONE\Program ☐ サーバ(S) [参照\(D\)...](#)

OK キャンセル

フォルダーを変更するコンポーネントを選択します。[サーバー] チェックボックスをオンにすると、インストール先はサーバーになります。ローカルのコンピューターにインストールしたい場合は、[サーバー] チェックボックスをオフにし、インストール先のフォルダーを入力します。

プロテクトタイプを確認してください

「プロテクト」タイプは、同梱の「お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○○

「プロテクト」タイプの初期値 は、「ネット認証ライセンス（占有）」です。

他のプロテクト（ネット認証ライセンス（LAN）、USBプロテクト【SNS-W】、【SNS-LAN-X】など）を使用される場合は、[「プロテクト」タイプを変更する] ボタンを押して、使用するプロテクトを選択して下さい。

「プロテクト」タイプの選択

「プロテクト」タイプを選択してください。ご購入された「プロテクト」タイプは、製品パッケージに明記されています。
「お客様控（構成表）兼 プロテクト装置保証書」または「ネット認証ライセンス保証書」にて確認いただけます。

☒ ネット認証

☐ SNS

ご確認下さい！
・「ネット認証」および「占有」、「共有」、および「共有 + LAN」を選択した場合、ご購入されたプロテクトタイプで確認下さい。
・ご購入いただいたプロテクトタイプが、お客様の環境に適合しない場合は、ご購入されたプロテクトタイプを、お客様の環境に適合するプロテクトタイプに変更して下さい。
・または「ネット認証ライセンス保証書」に記載されています。

※「お客様控（構成表）兼 プロテクト装置保証書」または「ネット認証ライセンス保証書」のサンプルを表示する

OK キャンセル

【 ネット認証 】

- ・【占有】： ネット認証ライセンス（占有）の場合に選択します。
 - ・【LAN】（※1）： ネット認証ライセンス（LAN）の場合に選択します。
 - ・【占有 + LAN】（※1）： ネット認証ライセンス（占有）とネット認証ライセンス（LAN）を併用する場合に選択します。
 - ・【共有】： ネット認証ライセンス（共有）の場合に選択します。
- （※1） LANの場合は、[FCネット認証LAN Server]をインストールしたサーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- ・【USBローカル】： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
 - ・【LAN】（※2）： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
 - ・【USBローカル + LAN】（※2）： USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- （※2） LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着しているサーバー名を入力してください。

（次ページへ続きます）

サーバー名を確認して次へ進みます。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

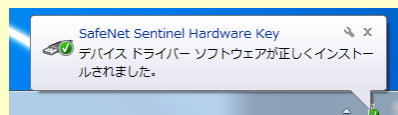
USBプロテクト【SNS-W】を使用するお客様は

ここでクライアントコンピューターにプロテクトを装着してください。

自動的にプロテクトドライバがインストールされ、プロテクトが認識されます。



Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。



(次ページ「Step5」へ進みます)

Step5 | ネット認証ライセンスのPRODUCT ID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録

プログラムを起動して、使用するプロテクトを選択します。ネット認証ライセンス（占有または共有）の場合は、「PRODUCT IDの認証」もおこないます。

また「FCコンシェルジュのユーザー登録画面」が表示された場合は、ユーザー登録もおこなってください。

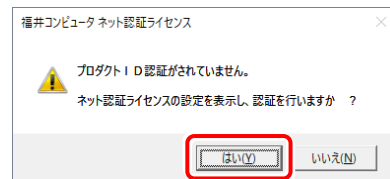
※ PRODUCT IDの認証およびFCコンシェルジュのユーザー登録は、インターネットに接続された環境が必要です。

1. クライアントコンピュータで、デスクトップの[Mercury-ONE]のアイコンをダブルクリックして起動します。



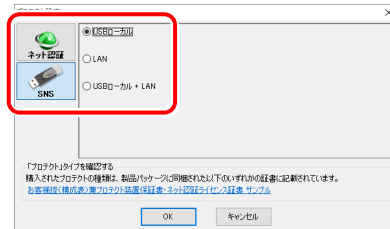
2. PRODUCT ID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してPRODUCT IDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス（占有）または（共有）を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.49 を参照してください。



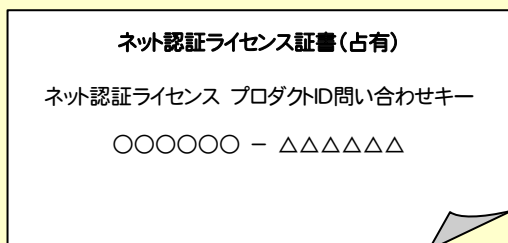
ネット認証ライセンス（占有）の場合の、PRODUCT ID認証の手順

※ ネット認証ライセンス（占有）のお客様のみ、おこなってください。

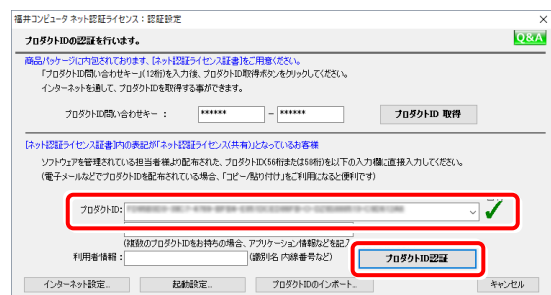
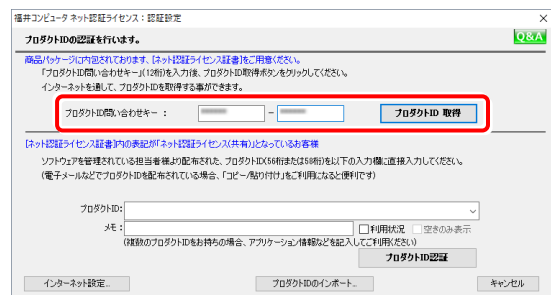
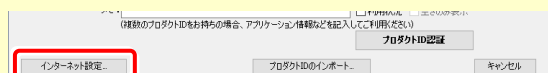
[PRODUCT ID問い合わせキー]を入力して、[PRODUCT ID取得]ボタンを押します。

[PRODUCT ID]が取得されたのを確認したら、[PRODUCT ID認証]ボタンを押します。

[PRODUCT ID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。



※ PRODUCT IDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



（次ページへ続きます）

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・複数人でライセンスを使用する場合。
- ・他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。

利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使われているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.**に進みます。

ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(共有)のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID]にソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

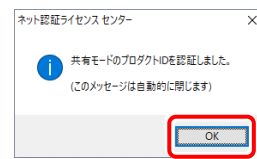
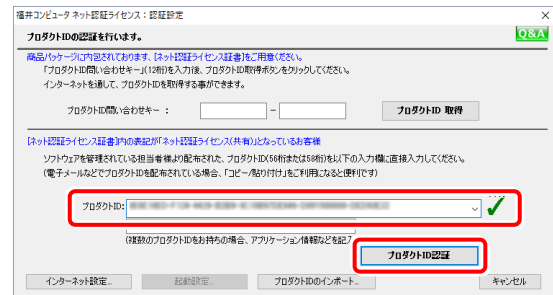
ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。

ネット認証ライセンス証書(共有)

プロダクトID

○○○○○○○○○-△△△△.....

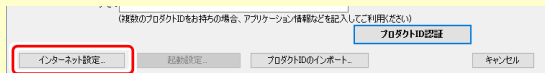
□□□□□□□-xxxxx.....



ネット認証ライセンス(共有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて **3.** に進みます。

※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. プログラムが起動されます。

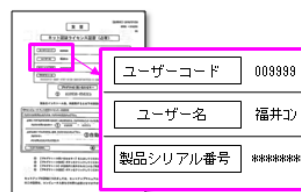
続けて **FCコンシェルジュのユーザー登録画面** が表示された場合は、必要事項を記入して **ユーザー登録**をおこなってください。登録が完了すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

既にFCコンシェルジュでユーザー登録されている場合は、登録ユーザーの一覧が表示されます。使用するユーザーを選択すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

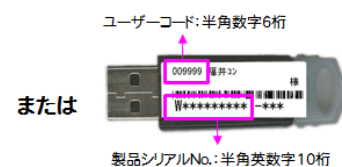
FCコンシェルジュ では、インターネットを利用した各種サービスが提供されます。例えば製品情報や各地のイベント・セミナー情報、操作サポート情報がご覧になれます。またインストールされているプログラムのアップデートをおこなう事もできます。

※FCコンシェルジュの登録に必要な「ユーザーコード」と「製品シリアル」については、右図を参照してください。

●製品に同梱されているネット認証ライセンス証書



●USBプロテクト裏面のシール



以上で Mercury-ONE の新規導入は **完了** です。

5.「サーバークライアント（共同編集なし）」の新規インストール手順

Mercury-ONE を「サーバークライアント（共同編集なし）」で新規インストールします。

まずサーバーで

「Step1 | Mercury-ONE サーバーインストール」

「Step2 | BEST FAQ サーバーインストール」をおこないます。

次にクライアントで

「Step3 | Mercury-ONE クライアントインストール」

「Step4 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録」をおこないます。

まず、サーバーにプログラムをインストールします

Step1 | Mercury-ONE サーバーインストール

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント(共同編集なし)]タブを選択します。

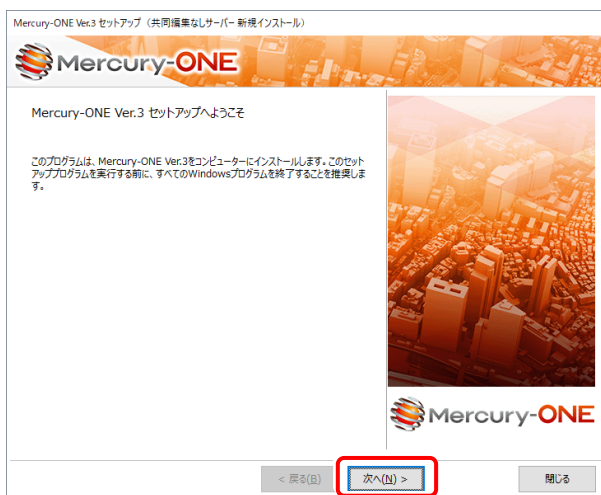


[① Mercury-ONE サーバーインストール] ボタンを押します。

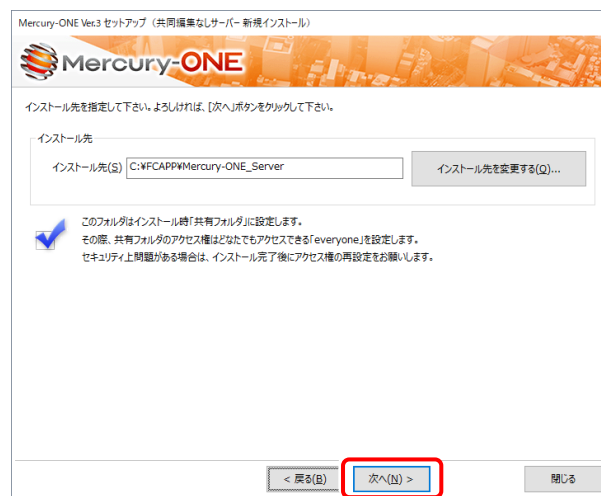


(次ページへ続きます)

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、「閉じる」を押します。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | BEST FAQ サーバーインストール

※ 次の手順は、保守サポートサービス「FCM-MUGQ」をご契約のお客様のみ、おこなってください。

「BEST FAQ」のインストールDVDは、「FCM-MUGQ」をご契約のお客様にお送りしています。

1. サーバーに、「BEST FAQ」のインストールDVDをセットします。



2. セットアップ画面の[サーバークライアント(共同編集なし)]タブをクリックします。



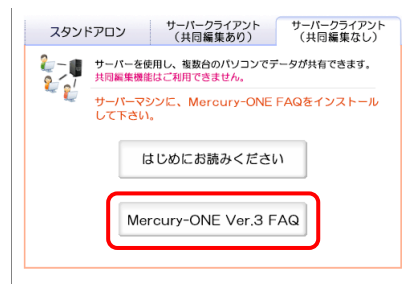
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の「Install.exe」を実行してください。

「はじめにお読みください」を確認して下さい

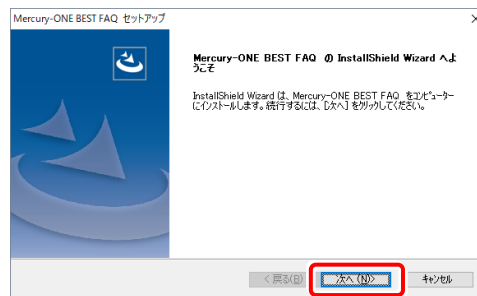
「はじめにお読みください」では、BEST FAQのインストール手順などを確認することができます。



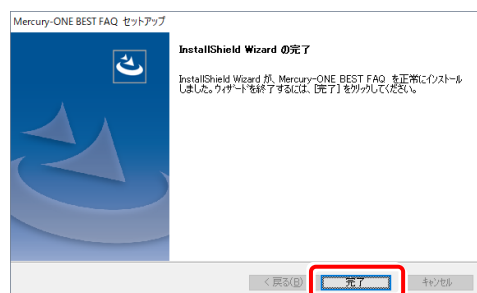
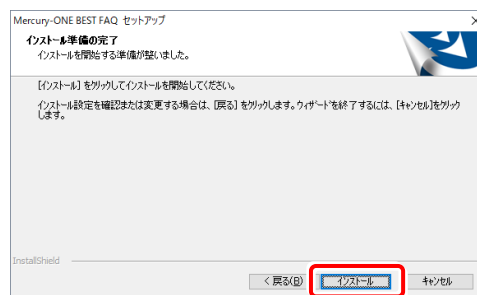
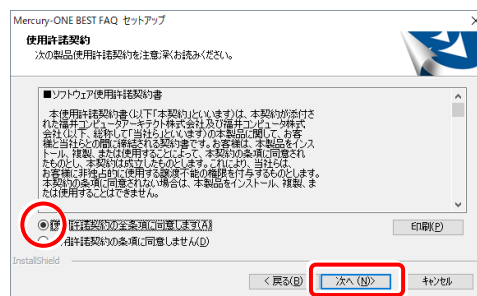
3. [Mercury-ONE FAQ] ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



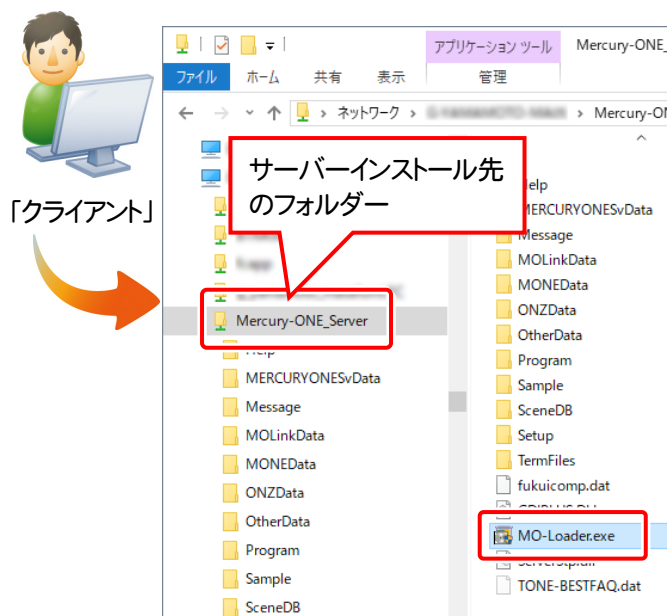
(次ページ「Step3」へ進みます)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

Step3 | Mercury-ONE

クライアントインストール

1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、「MO-Loader.exe」を実行します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。

時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する] ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

[各フォルダーを個別に設定する]とは

[インストール先]の[基本フォルダー]で指定したフォルダーには、プログラムやヘルプファイルなどがインストールされます。設定ファイルは共有のため、サーバーにインストールされます。

プログラムや各設定ファイルのインストール先を個別に指定したい場合は、[各フォルダーを個別に設定する] ボタン から表示されるダイアログで指定します。

フォルダーを変更するコンポーネントを選択します。[サーバー] チェックボックスをオンにすると、インストール先はサーバーになります。ローカルのコンピューターにインストールしたい場合は、[サーバー] チェックボックスをオフにし、インストール先のフォルダーを入力します。

プロテクトタイプを確認してください

「プロテクト」タイプは、同梱の「お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

「プロテクト」タイプの初期値 は、「ネット認証ライセンス(占有)」です。

他のプロテクト(ネット認証ライセンス(LAN) 、USBプロテクト【SNS-W】、【SNS-LAN-X】 など)を使用される場合は、[「プロテクト」タイプを変更する] ボタンを押して、使用するプロテクトを選択して下さい。

【 ネット認証 】

- ・【占有】： ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
 - ・【LAN】(※1)： ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
 - ・【占有 + LAN】(※1)： ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
 - ・【共有】： ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、[FCネット認証LAN Server]をインストールしたサーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- ・【USBローカル】： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
 - ・【LAN】(※2)： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
 - ・【USBローカル + LAN】(※2)： USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着しているサーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動してください。



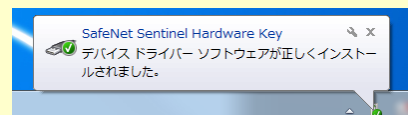
USBプロテクト【SNS-W】を使用するお客様は

ここでクライアントコンピューターにプロテクトを装着してください。

自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが認識されます。



Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。



(次ページ「Step4」へ進みます)

Step4 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録

プログラムを起動して、使用するプロテクトを選択します。ネット認証ライセンス(占有または共有)の場合は、「プロダクトIDの認証」もおこないます。

また「FCコンシェルジュのユーザー登録画面」が表示された場合は、ユーザー登録もおこなってください。

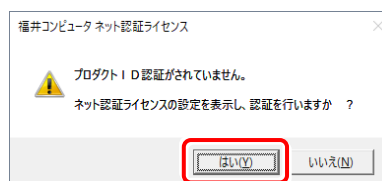
※ プロダクトIDの認証およびFCコンシェルジュのユーザー登録は、インターネットに接続された環境が必要です。

1. クライアントコンピュータで、デスクトップの[Mercury-ONE]のアイコンをダブルクリックして起動します。



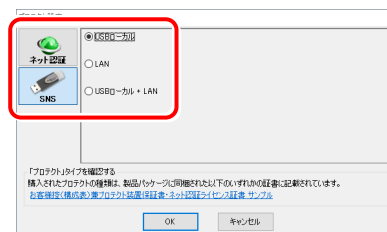
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプロダクトIDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)または(共有)を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.49 を参照してください。



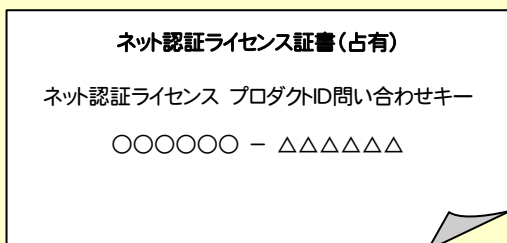
ネット認証ライセンス(占有)の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(占有)のお客様のみ、おこなってください。

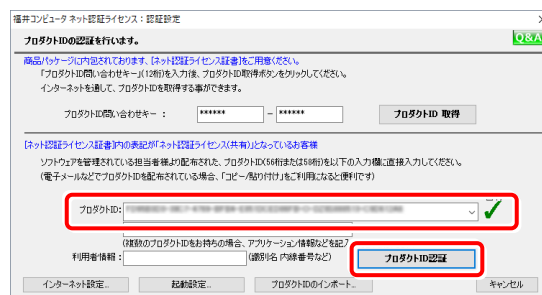
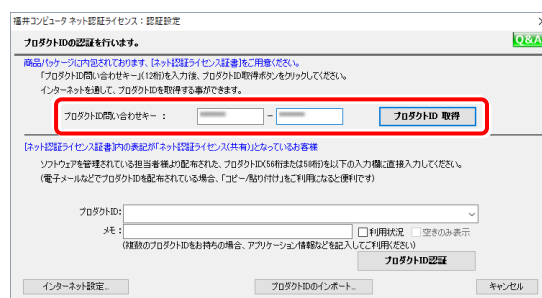
[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続きます)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・ 複数人でライセンスを使用する場合。
- ・ 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・ 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。

利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使われているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.** に進みます。

ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(共有)のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID]にソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

ソフトウェア管理者の方へ

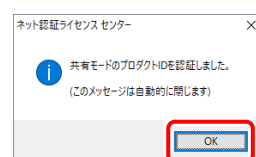
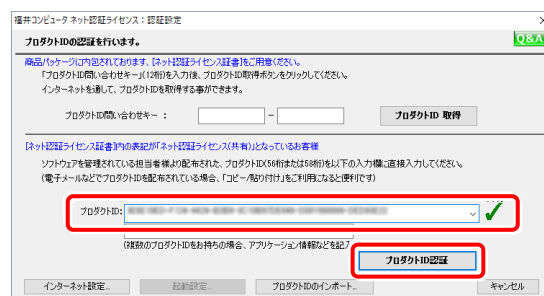
ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。

ネット認証ライセンス証書(共有)

プロダクトID

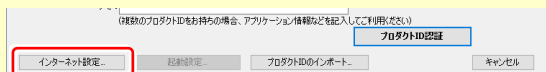
〇〇〇〇〇〇〇〇-△△△△.....
□□□□□□□-xxxxx.....



ネット認証ライセンス(共有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて **3.** に進みます。

※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. プログラムが起動されます。

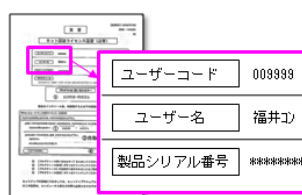
続けて **FCコンシェルジュのユーザー登録画面** が表示された場合は、必要事項を記入してユーザー登録をおこなってください。登録が完了すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

既にFCコンシェルジュでユーザー登録されている場合は、登録ユーザーの一覧が表示されます。使用するユーザーを選択すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

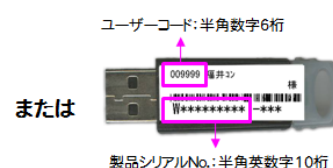
FCコンシェルジュ では、インターネットを利用した各種サービスが提供されます。例えば製品情報や各地のイベント・セミナー情報、操作サポート情報がご覧になれます。またインストールされているプログラムのアップデートをおこなう事もできます。

※FCコンシェルジュの登録に必要な「ユーザーコード」と「製品シリアル」については、右図を参照してください。

●製品に同梱されているネット認証ライセンス証書



●USBプロテクト裏面のシール



以上で Mercury-ONE の新規導入は **完了** です。

補足1

ネット認証ライセンス(LAN) のセットアップ手順

ネット認証ライセンス(LAN)を使用される場合は、プログラムをインストールする前に、ライセンス管理用のサーバーに「ネット認証LANサーバー(ライセンス管理プログラム)」をセットアップします。

※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。

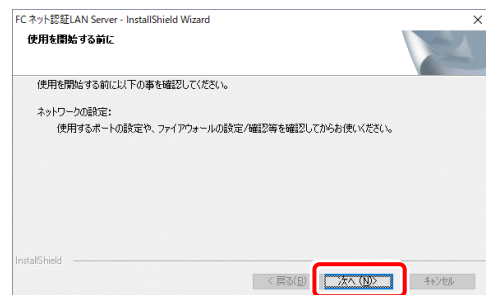
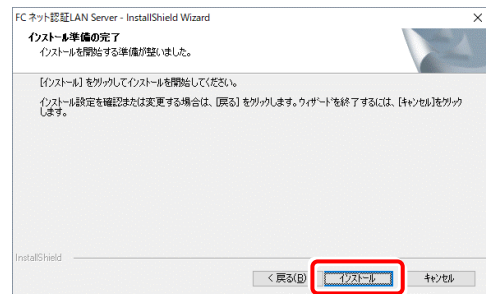
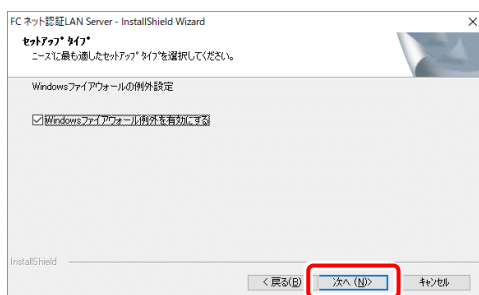
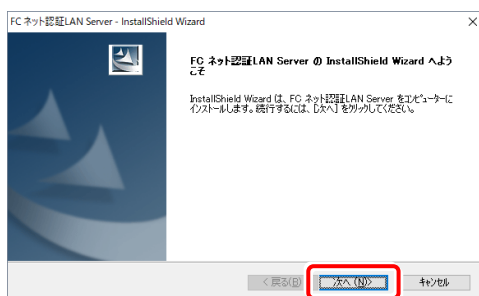
※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

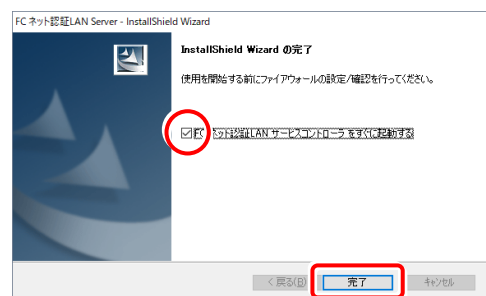
1. ライセンス管理用のサーバーに「インストールDVD」をセットします。
2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。



3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。

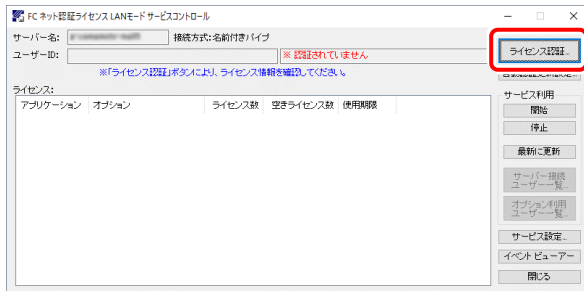


※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してから次の手順に進みます。

(次ページへ進みます)

Step2 | プロダクトIDの認証(サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面の、[ライセンス認証]を押します。



※ 上記画面が表示されていない場合は、

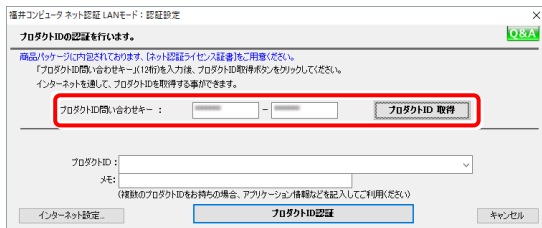
Windows10 : スタートメニュー

Windows8.1 : スタート画面の「アプリ画面」

Windows7 : スタートメニューの「すべてのプログラム」

から、[FC ネット認証LAN Server]—[FC ネット認証LAN サービスコントロール]を起動してください。

2. [認証設定]画面が表示されますので、[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]を押します。



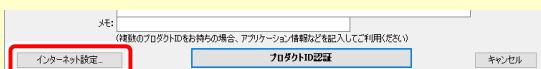
※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「**ネット認証ライセンス証書(LAN)**」に記載されています。

ネット認証ライセンス証書(LAN)

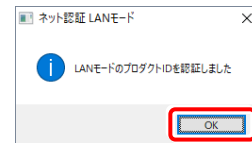
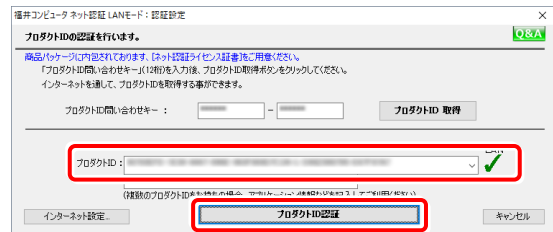
ネット認証ライセンス プロダクトID問い合わせキー

〇〇〇〇〇〇 - △△△△△△

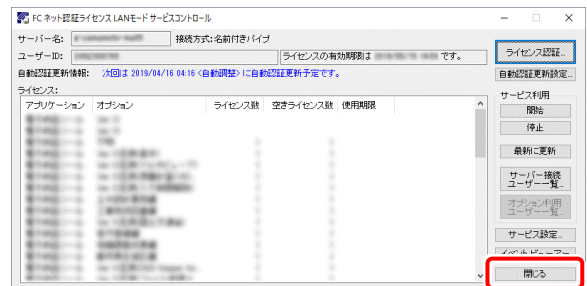
※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. [プロダクトID]が取得されたのを確認し、[プロダクトID認証]を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でネット認証ライセンス(LAN)のセットアップは完了です。

続けてプログラムのインストールをおこなってください。

P.11へ

補足2

SNS-LAN-X のセットアップ手順

USBプロテクト【SNS-LAN-X】を使用される場合は、ライセンス管理用のサーバーに、プロテクトドライバと「SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）」をセットアップします。

※ サーバーが再起動されます。起動中のアプリケーションは終了しておいてください。

Step1 | システムセットアップ

1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



※ 重要!!

USBプロテクトは、
まだサーバーに
装着しないでください。

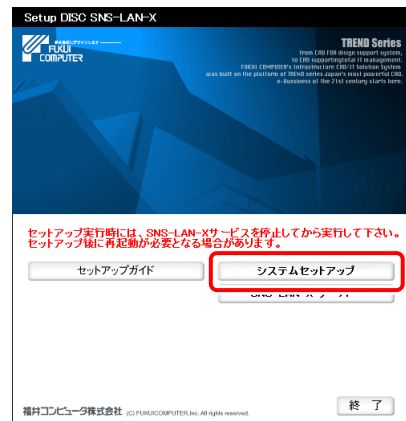


「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」 をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップ時や、プログラムの追加購入時に発送される、「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をサーバーにセットして新規インストールをおこなってください。

（古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」でインストールしないでください。バージョンアップや追加購入したプログラムが動かなくなる可能性があります。）

2. セットアップ画面の[システムセットアップ]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の[Install.exe]を実行してください。

（次ページへ続きます）

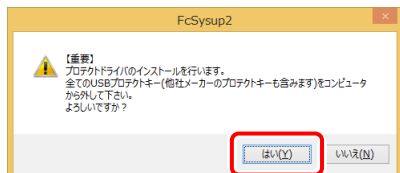
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X]ボタンを押します。



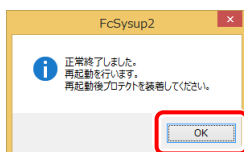
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい]ボタンを押します。



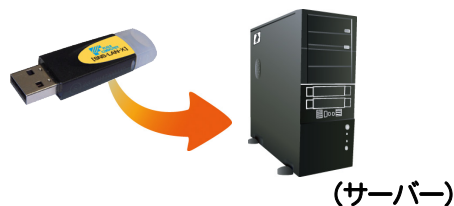
※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK]ボタンを押してサーバーを再起動します。

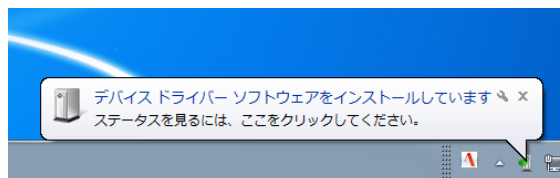


4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

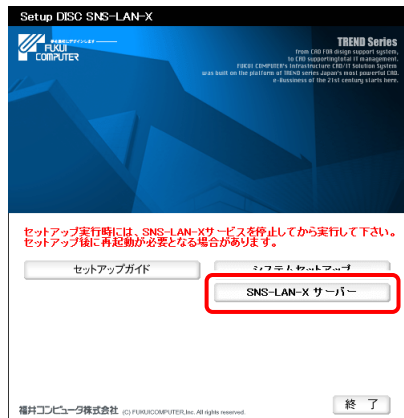
(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



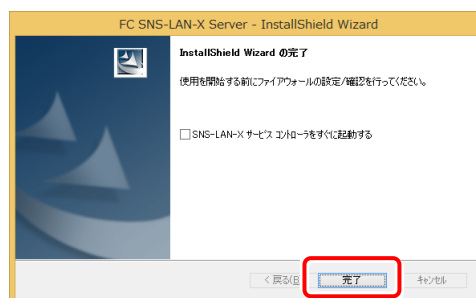
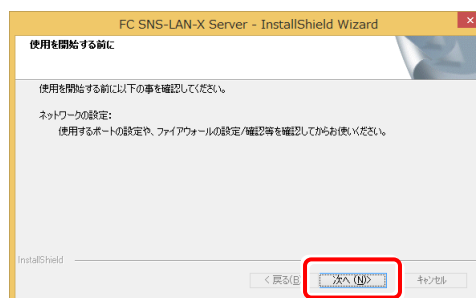
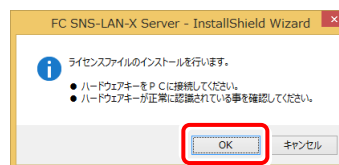
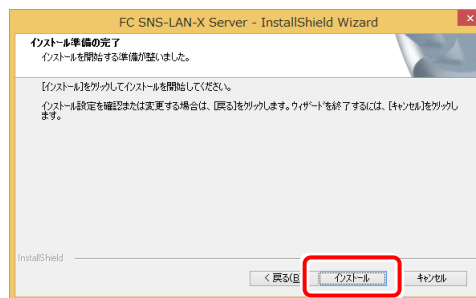
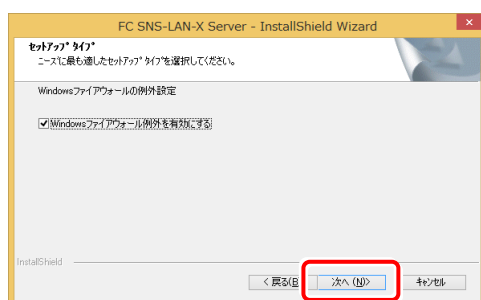
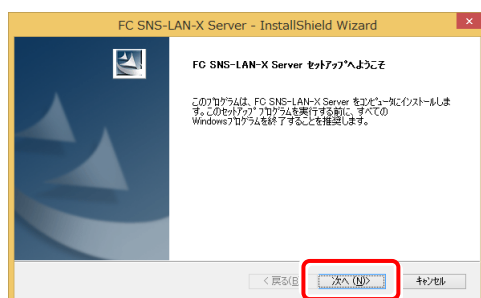
(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)のインストール

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーで、[SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



以上で【SNS-LAN-X】プロテクトのセットアップは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

続けてプログラムのインストールをおこなってください。

P.11へ

セットアップ Q&A

- [Q.1] ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、
どこかに資料はありますか? 48
- [Q.2] プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の
画面が表示されて起動できません 49
- [Q.3] ネット認証ライセンス (LAN) のライセンス管理について
教えてください 50
- [Q.4] USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について
教えてください 51
- [Q.5] 「FCコンシェルジュ」では何ができるのでしょうか?
使い方を教えてください。 52
- [補足] ネット認証 (占有) の解除方法 53
- [補足] ネット認証 (占有) の自動認証/解除の設定方法 54

Q.1

ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、どこかに資料はありますか？

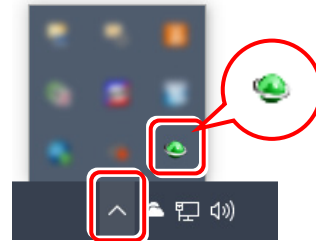
A.1

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面から、ネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能や、お問い合わせのあった内容について記載されています。

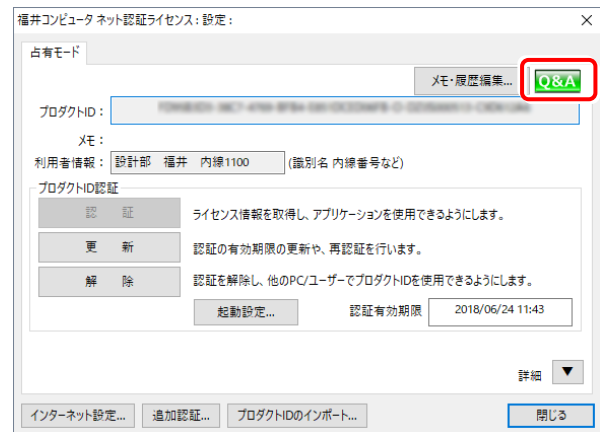
開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

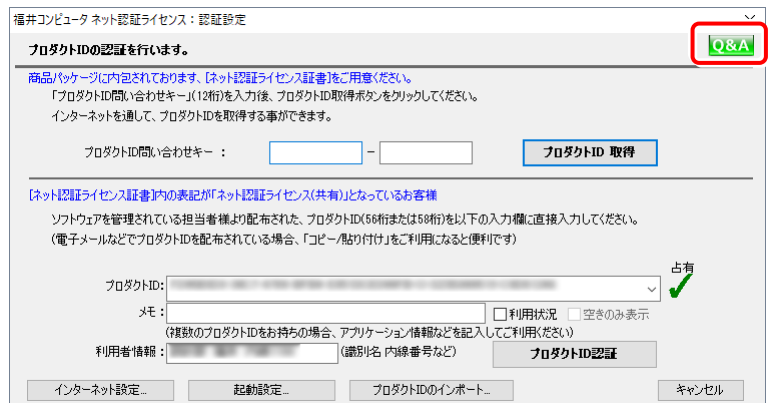


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A]ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または



Q.2

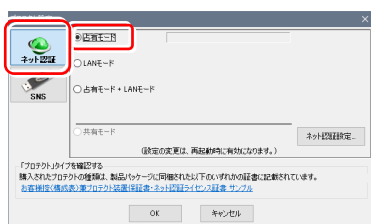
プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。
どうすればいいのでしょうか？

A.2

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。

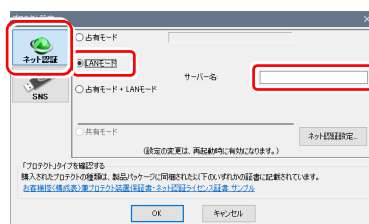
【ネット認証ライセンス(占有)】を使用

[ネット認証]－[占有モード]を選択



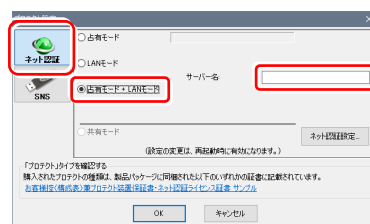
【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用

[ネット認証]－[LANモード]を選択



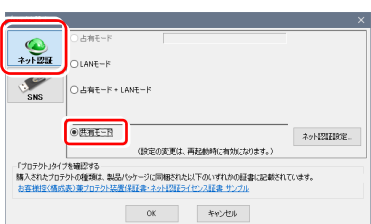
**【ネット認証ライセンス(占有)】と
【ネット認証ライセンス(LAN)】を
併用**

[ネット認証]
－[占有モード+LANモード]を選択



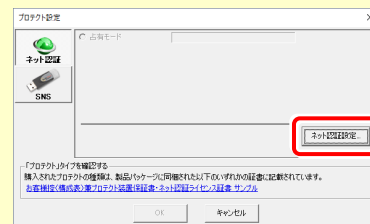
【ネット認証ライセンス(共有)】を使用

[ネット認証]－[共有モード]を選択



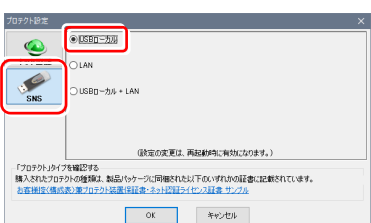
【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、
「FCネット認証LAN Server」をインストールしたサーバーのコンピューター名を
入力してください。

モードが選択できない場合は、[ネット認
証設定]ボタンを押して、ネット認証ライ
センスのプロダクトIDを認証してくださ
い。



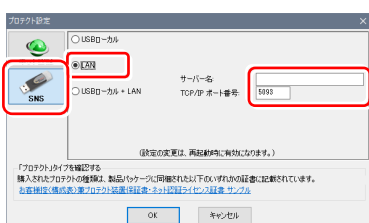
【SNS-W】を使用

[SNS]－[USBローカル]を選択



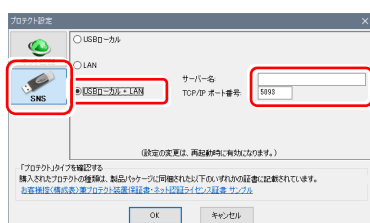
【SNS-LAN-X】を使用

[SNS]－[LAN]を選択



【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用

[SNS]－[USBローカル+LAN]を選択



【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着した
サーバーのコンピューター名を入力してください。
また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」の[オプシ
ョン]で設定されたポート番号を入力してください。(51ページを参照)

Q.3

ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について教えてください。

A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」で管理します。

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニュー
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントロール」を実行してください。

The screenshot shows the 'FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール' window. It includes fields for 'サーバー名' (Server Name) and 'ユーザーID' (User ID). A table displays 'ライセンス' (Licenses) with columns for 'アプリケーション' (Application), 'オプション' (Option), 'ライセンス数' (License Count), '空きライセンス数' (Available License Count), and '使用期限' (Usage Period). On the right, there are buttons for 'ライセンス認証' (License Authentication), '自動認証更新設定' (Automatic Authentication Update Setting), 'サービス利用' (Service Use) with sub-buttons '開始' (Start), '停止' (Stop), '最新に更新' (Update to Latest), 'サーバー接続ユーザー一覧' (Server Connection User List), 'オプション利用ユーザー一覧' (Option Use User List), 'サービス設定' (Service Setting), 'イベントビューアー' (Event Viewer), and '閉じる' (Close). A 'サービス設定' (Service Setting) dialog box is also shown, with tabs for '接続' (Connection), '動作ログ' (Operation Log), and '使用状況ログ' (Usage Status Log). The '接続' tab is active, showing '接続方式' (Connection Method) as 'LAN接続方式' (LAN Connection Method) and 'ポート番号' (Port Number) as '5093'.

[サーバー名]
サーバーのコンピューター名が表示されます。

[ユーザーID]
ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[サービス設定]
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続プロトコルを設定します。

[動作ログ]タブ
使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。

[使用状況ログ]タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

[ライセンス認証]
プロダクトIDの認証・更新などを行います。

[自動更新設定]
認証の自動更新処理について設定します。

[開始]
サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

[停止]
サービスを停止します。

[最新に更新]
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

[サーバー接続ユーザー一覧]
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

[オプション利用ユーザー一覧]
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

[イベントビューアー]
Windows標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証LANサーバーが動作しないときなど、サポートの対応時に使用します。

- [動作ログ]には、アプリケーションの動作状況が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先フォルダーを設定します。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」のサービスの開始時に、ログの取得が開始されます。
 3. サービスの停止時に、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証LAN動作ログ_(日時).log です。
- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先フォルダーを設定します（[間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定）。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

Q.4

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

A.4

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニュー
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、[FC SNS-LAN-X Server]—[FC SNS-LAN-Xサービスコントロール]を実行してください。

[サーバ]
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

[ユーザID]
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始]ボタン
サービスを開始します。
SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止]ボタン
サービスを停止します。

[更新]ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザ]ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション]ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- [ポート番号]の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定)
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

Q.5

「FCコンシェルジュ」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

A.5

「FCコンシェルジュ」に登録していただくと、以下のようなサービスが受けられます。

- ・ ご利用の製品に関する、最新の情報をお知らせいたします。
- ・ ご利用の地域でおこなわれる、イベントやセミナーの情報をお知らせいたします。
- ・ ソフトウェアをアップデート(最新の状態に更新)することができます。

各種オンラインサービスをご利用できます。



「お知らせ」「自動更新」「サポート」など、福井コンピュータからのお知らせが表示されます。

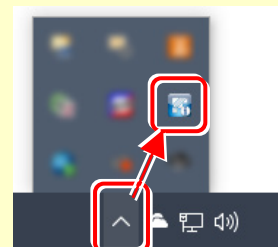
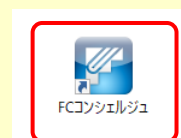
ご利用されているお客様情報が表示されます。

※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

「FCコンシェルジュ」を起動させるには

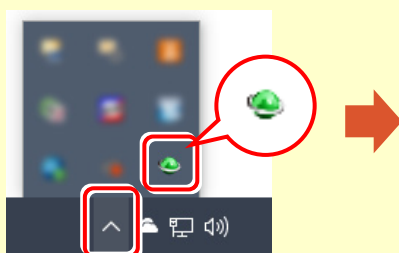
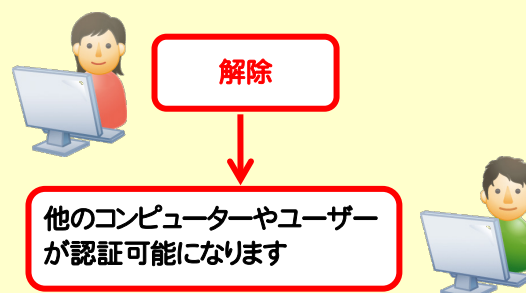
デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



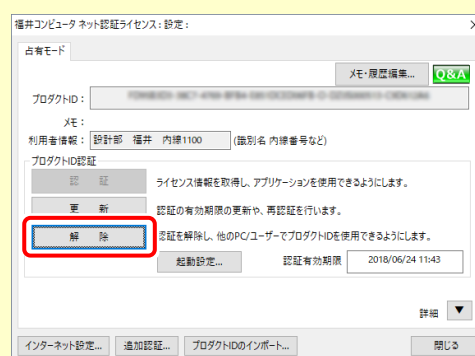
〔補足〕 ネット認証(占有)の解除方法

同じネット認証ライセンス(占有)を、他のユーザーまたは他のコンピュータで使いたい場合は、ネット認証を解除する必要があります。

手でネット認証ライセンスを解除する場合は、以下の手順で解除してください。



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。

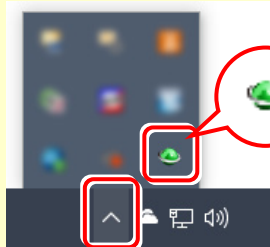


ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
〔解除〕を押すとネット認証が解除されます。

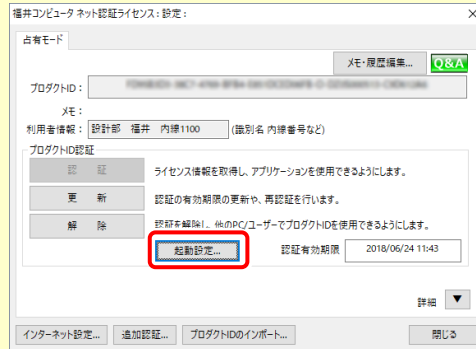
〔補足〕 ネット認証(占有)の自動認証/解除の設定方法

現在設定されているネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更したい場合は、以下の方法で設定を変更します。

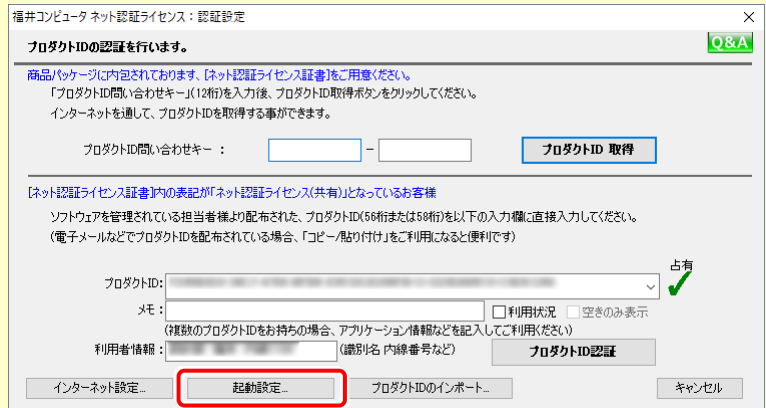
画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。



〔起動設定〕を押します。



または



「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を変更します。変更後、[OK] ボタンを押してください。

注意： ネット認証の際には、インターネットに接続されている必要があります。

インターネットに接続できない現場などに持ち出す場合は、自動解除を設定しないでください。(すべてのチェックをOFF)
また現場に持ち出す場合は、事前にネット認証を済ませておいてください。

